

展示室A 1階

おはなし美術

The Art of Stories



井上洋介『ふりむけば猫』より(部分) 1981年 当館蔵

同時開催 展示室A

2階

カラー・オブ・グラス／青木美歌《未生命の遊槽》／この1点を見てほしい。池田良二(アントニ・タビエス氏に捧げる Varanasi)

2025 12/13[土] - 2026 4/12[日]

開館時間：9時30分～17時(入場は16時30分まで)

休館日：月曜日(12/12(月・祝)、2/23(月・祝)を除く)、
12/30(火)～1/3(土)、1/13(火)、2/17(火)～2/20(金)、2/24(火)

観覧料：一般510(420)円、高大生250(170)円 ●()内は10名以上の団体料金。

●無料になる方

○65歳以上、中学生以下、身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方(マイワID利用可)及びその介護者(1名)、児童福祉施設、老人福祉施設に入所されている方とその引率者、生活保護を受けている方。
○高校生等が毎週土曜日、及び学校の教育活動で利用する場合。

●特別展(イワタル展)との共通券：一般1,500円、高大生750円(当日券のみ有効) ●三岸好太郎美術館との共通券：一般830(670)円、高大生410(270)円

北海道立近代美術館
Hokkaido Museum of Modern Art

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目

TEL 011-644-6882 FAX 011-644-6885

E-mail kinbi.gyomu1@pref.hokkaido.lg.jp

☒@dokinbi ☒@dokinbi

当館HP



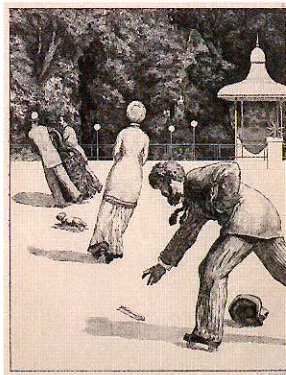
おはなし美術

The Art of Stories

わたしたちの周りには、たくさんの「おはなし」が存在します。古くから伝わる説話、本に記された物語や、誰かに聞いてもらうためにまとめられた事柄、スピーチや対話など、その内容や形式、方法は多岐にわたります。おはなしとは何らかの物事や物語を伝え、また互いの思いや考えを伝え合う「コミュニケーション」そのものといえるのかもしれませんが。

この展覧会では、おはなしを一つの糸口としながら、美術の世界をたのしくご覧いただけます。おはなしとともに描かれた絵本、かけことばを取り入れた浮世絵、説話をモチーフとする絵画やイメージーションゆたかな版画連作など、おはなしをめぐる多彩な作品をご紹介します。その内容や表現の工夫をやさしく読み解きます。また立体作品を手でふれて、かたちや質感を味わっていたくコーナーも設けます。

「おはなし美術」をととして、わたしたちと美術がもっと仲良くなれますように…！



1. マックス・クリンガー『手袋』1881年
2. 菊川多賀『小宰相』1976年
3. 中谷有逸『碑・古事記(オキナガタラシヒメとその御子)』2014年
4. 田中忠雄『バベルの塔』1961年

展示室A

1階

関連事業

●ミュージアム・トーク
講師：当館学芸員
日時：会期中日曜日(不定期) 14時～(約30分)
会場：展示室A(要観覧券)

●ギャラリー・ツアー
ご案内：当館ボランティア
日時：会期中の火～土曜日(祝日を除く) 11時30分～、
13時～、14時～(各回約30分)
会場：展示室A(要観覧券)

●その他、講話の文字化を採り入れたミュージアム・トークや、絵巻物に触れるワークショップなどを予定しています。詳細は決まり次第、当館ホームページ等でお知らせします。

同時開催

展示室A 2階

カラー・オブ・グラス Various Colors of Glass

ガラス造形では金属化合物により様々な色を着色するほか、異なる色ガラスを被せるなどの手法で複雑な色合いを生みだしています。さらに光の透過性などの性質を生かして創造された、ガラスならではの色彩美をご紹介します。



岩田久利『花器』1987年

この1点を見てほしい。

池田良二《アントニ・タピエス氏に捧げる Varanasi》

Enjoy Special One Piece: Ikeda Ryoji, *Homage to Antoni Tàpies: Varanasi*

6,000点を超える当館コレクションの中から1点を選び、学芸員が多角的な研究を通して作品の奥深い魅力をご紹介します。今回は、根室出身の銅版画家、池田良二の作品を取り上げます。

青木美歌《未生命の遊戯》 Aoki Mika, *Aquarium of life and death*

生命のつながりや光をテーマに、ガラスを素材とする制作を展開した青木美歌(1981～2022)。その最大級のインスタレーションを通年展示します。



青木美歌《未生命の遊戯》(部分) 2010年



掲載作品はいずれも当館蔵

アクセス

- 地下鉄：東西線・西18丁目駅下車、④番出口から徒歩5分
- JRバス、中央バス：バス停「道立近代美術館」下車、徒歩1分
- 提携駐車場：ビッグシャイン88北1条駐車場(北1条西15丁目、当館から徒歩5分)
- 美術館利用者を対象とした割引：駐車場入場から20分無料。以降20分ごとに130円。当館内の押印機で駐車券に押印してください。
- 障害者割引：精算前にビッグシャイン窓口で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示すると、1時間無料。(上記2つの割引は併用不可)



障害のあるお客さまへ

- 当館には一般向けの駐車場はありませんが、車椅子をご利用の方など障害のある方については、専用駐車場(当館北側)に駐車可能です。事前に電話でお問い合わせください(台数に限りがありますので、ご希望に添えない場合もございます)。
- 盲導犬、介助犬、聴導犬と一緒にご利用いただけます。
- 東西門から正面玄関まで点字ブロックがあります。
- 展覧会概要の点字訳をご用意しています。

車椅子をご使用のお客さまへ

- 貸出用車椅子を正面玄関等に9台用意しています。ご利用の際は係員にお声がけください。
- 1階アート・レファレンス・サービス(ARS)コーナー横にエレベーターがあります。
- 1階に多機能トイレ、オストメイト対応トイレがあります。

小さなお子様をお連れのお客さまへ

- 貸出用ベビーカーを正面玄関に6台用意しています。ご利用の際は係員にお声がけください。
- 2階に幼児室があります(授乳スペース・オムツ替用ベビーベッドあり)。

【その他、お困りのことや予めご確認になりたいことなどがございましたら、お気軽にお問い合わせください。】

展示室B/特別展

イワタリ展 Iwata Ruri Exhibition

会期：12月13日(土)～2026年2月15日(日)
観覧料：一般1,200(1,000)円、高大生700(500)円、
小中生300(200)円、未就学児無料

北海道立近代美術館 Hokkaido Museum of Modern Art

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目
TEL 011-644-6882 FAX 011-644-6885

E-mail kinbi.gyomu1@pref.hokkaido.lg.jp
@dokinbi @dokinbi